

Noism Company Niigata

Noism^o

Noism2 定期公演 vol.13

2022年5月21日(土) 17:00

5月22日(日) 15:00

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

Noism2 代表作のひとつ『火の鳥』を上演！

Noism2 は、りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する Noism Company Niigata の研修生カンパニー。13 回目の開催となる今回の定期公演では、Noism2 の代表作のひとつ『火の鳥』を上演します。ストラヴィンスキーの名曲《火の鳥》は、20 世紀はじめに総合芸術としてのバレエを確立した「バレエ・リュス」の創設者ディアギレフが振付けた初演以来、これまでさまざまな振付家・舞踊団が独自に上演してきました。Noism でも、2011 年に金森穰が初めて Noism2 のためのオリジナル作品として振付し、好評を得て何度か再演を重ねています。今年にはディアギレフの生誕 150 周年にあたることを記念して、6 年ぶりに上演。また、他にも金森穰振付による Noism のレパートリーからいくつかの作品・場面を抜粋し、再構成して上演します。プロをめざす研修生たちの挑戦に、どうぞお立会いください！

お問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

舞踊企画課 坂内佳子 y-bannai@ryutopia.or.jp

Noism 制作担当 上杉晴香 h-uesugi@ryutopia.or.jp

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

Tel: 025-224-7000 (平日 10:00~18:00/休館日除く)

Fax: 025-224-5626

Noism オフィシャルウェブサイト www.noism.jp

Noism



@NoismPR



noism_official



『火の鳥』 2016 年再演時の演出ノートより

金森 穰

りゅーとぴあ舞踊部門芸術監督 / Noism Company Niigata 芸術監督

この作品は 2011 年に私が Noism2 のために、そして学校公演を視野に創作した作品です。

当時私は、体育館でこの作品を観劇した子供達が、やがて成人して社会人となり、一観客として劇場へ集ってくる白昼夢を見ました。私が見た白昼夢が現実のものとなるには、まだ数年待たなければなりません。しかし私はその実現を確信しています。それはこの作品が子供達の心に響くと信じる作者の、根拠のない妄想に過ぎないかもしれない。それでも私は、ネガティブな未来を凝視するのと同じだけのエネルギーを用いて、ポジティブな未来を信じていたいのです。そして排他的な言説や価値観が、まるでウイルスのように世界を覆い始めている現代だからこそ、私は（私にしては珍しく）子供達にポジティブなメッセージを届けたいのです。

作品のテーマは「シンパシー（共鳴／同感／同情）」です。自らの殻に閉じこもり、自分を信じることができない少年がいます。すると少年の周りに闇が押し寄せてきます。それは少年自らが引き寄せているネガティブなエネルギーの共鳴なのです。そこへ火の鳥が現れます。火の鳥は時に鳥獣のような野性的エネルギーで、時に菩薩のような慈愛のエネルギーで少年を殻の外へと導いて行きます。すると少年に嫉妬した 5 人の若者が現れ、火の鳥を少年から奪い去ろうと襲いかかります。それは同感の負の側面と言えるでしょう。火の鳥は激しく痛めつけられ、ついにその火は消えてしまいます。自らの不甲斐無さを悔い、悲しみにくれる少年が一人涙を流していると、それを見つめる若者たちの心に自責と同情の念が湧いてきます。若者たちが少年と共に涙を流し始めると……

本作品が皆様の感受性を刺激し、その“皮膚レベルの経験”が老若男女を問わず、価値あるものであることを信じています。



撮影：村井勇

Noism 2 定期公演によせて

浅海侑加

Noism2 リハーサル監督

レパートリー

見て覚え、それを踊る。という行動は、誰にでもできてしまう事かもしれないませんが、どれだけ自分の物に、自分の踊りで魅せられるかが問われます。

舞台上でそれが簡単に済まされぬ様、過去の作品を見様見真似ではなく、舞踊家それぞれの意志を持って舞台に立ってほしいです。

今シーズンの Noism2 メンバーそれぞれの現在、未来を思いレパートリー作品を選びました。

『火の鳥』

Noism2 の為に作られたこの作品を踊る事は、舞踊家として演技力・技術・身体性など難しく厳しい中でも、経験として多くの事が得られるでしょう。

また 1 人の人間としても作品を通して色々な感情やエネルギーをそれぞれが体感し、メンバー同士にそれが広がり、共感、刺激し合えると思います。

メンバーにとって研修生である今、『火の鳥』を踊ってもらいたいなという思いがありました。

ダブルキャストで上演しますので、それぞれ異なった『火の鳥』を楽しみにしていただければと思います。



『solo for 2』撮影：篠山紀信



『R.O.O.M.』撮影：篠山紀信



『Phychic 3.11』撮影：篠山紀信



『Me/mento, 4 am "ne" siac』撮影：瀬戸秀美

上演作品（予定）

演出振付：金森穰 稽古監督：浅海侑加

- ・ solo for 2 より 初演：2012 年
- ・ R.O.O.M.より 初演：2019 年
- ・ 碎波 初演：2017 年
- ・ Phychic 3.11 より 初演：2011 年
- ・ Me/mento, 4 am "ne" siac より 初演：2001 年
- ・ 火の鳥 初演：2011 年

* 演目は変更になる可能性があります。

* 本公演はダブルキャストで上演いたします。ご都合許せばぜひ両日の公演をご覧ください。

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団。芸術監督は金森穰。プロフェッショナル選抜メンバーによる Noism0 (ノイズムゼロ)、プロフェッショナルカンパニーNoism1 (ノイズムワン)、研修生カンパニーNoism2 (ノイズムツー) の3つの集団があり、2004年の設立以来、国内・世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動している。Noism1 はりゅーとぴあで創った作品を国内外で上演し、新潟から世界に向けてグローバルに活動。Noism2 はプロをめざす若手舞踊家が所属し、劇場での公演の他に、新潟市内で開催されるイベントや学校への出前公演等、地域に根ざした活動を続けている。Noism0 は、舞踊に限らず、年齢と経験を積み重ねた芸術家だからこそ生み出せる表現を、新潟から世界に向けて発信していく。

Noism の由来は、「no-ism=無主義」。特定の主義を持たず、歴史上蓄積されてきた様々な身体知を用いて、あらゆるismを再検証することで、今この時代に有用な新しい形に置き換え、現代人としての身体表現を後世に伝えていこうとしている。

18th (2021/2022) シーズンメンバー

Noism0=金森穰 (芸術監督)、井関佐和子 (副芸術監督)、山田勇氣 (Noism1 リハーサル監督)

Noism1=ジョフォア・ポプラヴスキー、井本星那、三好綾音、中尾洸太、マルク・オリヴェラス・カサス、
庄島さくら、庄島すみれ、坪田光、中村友美、樋浦瞳

準メンバー=杉野可林、カナル・ミラン・ハジメ、横山ひかり

Noism2=浅海侑加 (リハーサル監督)

青木愛実、兼述育見、小林亜優、土屋景衣子、渡部梨乃、糸川祐希、太田菜月、西川瑚子



Noism2 リハーサル監督

浅海侑加 Yuka ASAUMI

Noism2 リハーサル監督。舞踊家。1992年愛媛県生まれ。3歳よりクラシックバレエを始める。00年より山口美佳、山本康介に師事。10年イギリス Rambert School of Ballet and Contemporary Dance に留学。13年同校卒業と同時にケント大学 BA 取得。13年9月より Noism2、15年9月より Noism1 準メンバー、16年9月～19年8月 Noism1 で活動。20年9月より Noism2 リハーサル監督に就任。



Noism2 (ノイズムツー)

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団 Noism Company Niigata の研修生カンパニー。プロフェッショナルカンパニーである Noism1 の附属集団として 2009年に設立。プロを目指す若手の舞踊家が所属し、りゅーとぴあでの単独公演のほか、Noism1 との合同公演として劇的舞踊『ホフマン物語』、『カルメン』、『ラ・バヤデールー幻の国』、『中国の不思議な役人』、『春の祭典』等に出演。2013年のシーズンからは山田勇氣がリハーサル監督に就任し、新潟市内で開催されるイベント等へのゲスト出演や学校出前公演など、新潟に根ざした活動を展開。2020年9月からは、浅海侑加がリハーサル監督を務めている。



撮影：松崎典樹

Noism2 定期公演 vol.13

2022年5月21日(土) 17:00 / 22日(日) 15:00

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館(劇場)

入場料：全席指定 2,000円 U25 1,000円(税込)

取扱い：りゅーとぴあ(オンライン・電話・窓口)

- ・オンライン・チケット <https://piagettii.s2.e-get.jp/ryutopia/pt/> [発売初日 11:00~]
- ・電話 025-224-5521 (11:00~19:00 / 休館日除く) [発売初日 11:00~]
- ・窓口(りゅーとぴあ 2階) [発売初日(会員先行・一般発売ともに)取扱いなし]

発売日：会員先行 2022年3月8日(火) 一般発売 2022年3月12日(土)

- * 会員および一般発売初日は、インターネットと電話予約に限定いたします。残席があった場合、翌営業日 11:00 より窓口にて取扱います。
- * U25 は公演時 25 歳以下の方対象(未就学児を除く)。入場時に身分証をご提示願います。
- * 未就学児の入場はご遠慮いただいております。
- * 開演時間を過ぎますと、演出上の都合によりご入場を制限いたします。
- * 託児サービス、車イス席等の詳細は Noism ウェブサイトまたはりゅーとぴあ HP をご覧ください。

問合せ：りゅーとぴあチケット専用ダイヤル Tel: 025-224-5521 (11:00-19:00 / 休館日除く)

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の点にご留意ください

- ・ 平熱より 0.5 度以上高い発熱や咳、咽頭痛等の症状のある方は来館・入場しないでください。その場合、チケットは払戻しいたしますのでお申し出ください。(ただし、お申し出は公演当日の開演時間まで受け付けます。)
- ・ マスクの着用、手洗い、手指消毒の徹底と、社会的距離の確保をお願いします。
- ・ 次の行動はしないでください：お客様同士の大声での会話、出演者への声掛け(掛け声、ブラボー等)、出演者への贈り物(お花、お手紙、プレゼント等)、出入り待ち、楽屋訪問
- ・ 当面の間、ピュッフェ、クローク、サイン会、アフタートークは行いません。ブランケット等の物品貸出も休止しています。
- ・ 来場時、アンケート用紙に住所、氏名、緊急連絡先等の個人情報をご記入ください。万一、来場者から感染が確認された場合は、情報を保健所等公的機関に提供いたしますのでご了承ください。
- ・ 社会情勢の変化により、公演内容を変更または中止する場合があります。最新の情報はりゅーとぴあホームページ (<https://www.ryutopia.or.jp>)、または Noism オフィシャルウェブサイト (www.noism.jp) にてご確認ください。

ご理解とご協力をお願いいたします。

新潟市民芸術文化会館